

# 白鷹町保健事業実施計画

(第二期データヘルス計画及び第三期特定健康診査等実施計画)

## 中間評価

<令和2年度>

白鷹町国民健康保険

## 目 次

第1章 基本的事項 .....	1
1. 背 景 .....	1
2. 計画期間 .....	1
3. 実施体制 .....	1
第2章 保健事業実施計画の中間評価 .....	2
1. 白鷹町国民健康保険の被保険者の状況 .....	2
2. 被保険者全体の健康水準の評価について .....	3
第3章 保健事業の中間評価と見直し .....	5
1. 計画全体の評価と方向性の検討 .....	5
2. 個別事業の評価と方向性の検討 .....	6
3. 中間評価後の事業の実施と目標値の追加 .....	8
第4章 計画の進捗管理 .....	9

## 第1章 基本的事項

### 1. 背景

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」により、保険者はレセプト等のデータ分析に基づく健康の保持増進のための保健事業の計画を策定し、評価を実施すべきとの方針が示されました。これを受けて、白鷹町においては平成27年度にデータヘルス計画を策定し、生活習慣病の発症と重症化の予防を目標に、若い世代や非肥満者への健康教育に取り組んでまいりました。平成30年度からは、前計画の実績及び評価を踏まえ、保健事業実施計画（第二期データヘルス計画及び第三期特定健康診査等実施計画）を策定し、国保データベースシステム（KDBシステム）及び特定健康診査・特定保健指導の実施結果のデータを活用した健康増進及び医療費の適正化を推進するための取り組みを進めています。

令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響により新しい生活様式が求められるようになりました。保健事業の推進においても感染予防を十分に図ることに加え、新たな健康課題の把握に努めながら柔軟な対応が必要となっています。

### 2. 計画期間

本計画の期間は、平成30年度から令和5年度までの6年間であり、令和2年度はその中間年度に当たることから事業の評価、目標値の修正について検討をしました。

#### ■第2期データヘルス計画の中間評価・見直しのスケジュール



### 3. 実施体制

今回の中間評価にあたっては、大学および病院、保健所関係者等の委員で構成される山形県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会の支援を受け、町民課国保医療係、健康福祉課健康推進係が事業の評価、見直しを行いました。

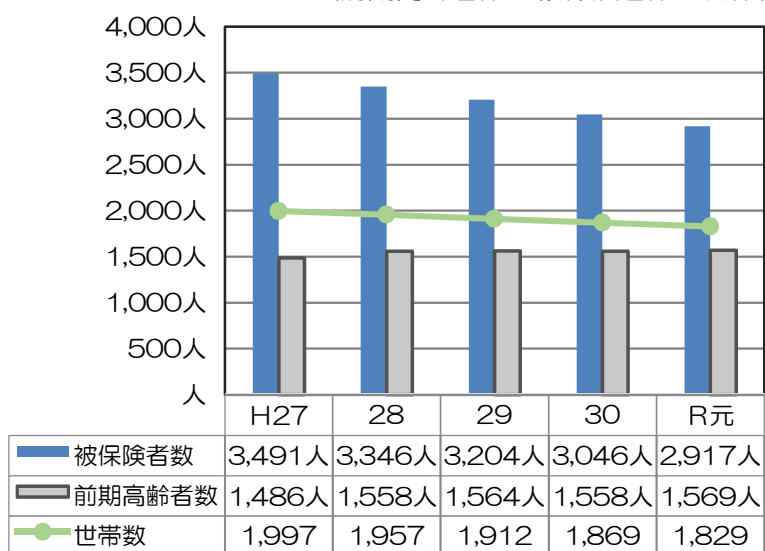
## 第2章 保健事業実施計画の中間評価

### 1. 白鷹町国民健康保険の被保険者の状況

#### (1) 被保険者数の推移

世帯数、被保険者数は減少傾向が続いていますが、前期高齢者（65歳～74歳までの被保険者）数はほぼ横ばいのため被保険者の高齢化が進んでいます。被保険者数は、毎年5%程度減少しています。

図1 被保険者数及び世帯数推移  
(前期高齢者数は被保険者数の内数)



※国民健康保険事業年報より

#### (2) 被保険者の加入割合及び年齢構成割合（令和元年度末）

計画策定時に使用した平成28年度データと比較すると、町内人口に占める被保険者数の割合は2%余り減少し21%となりました。平均年齢は58.1歳で、1.7歳高齢化しました。

図2 国保加入割合

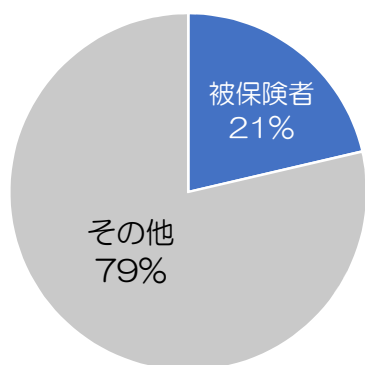
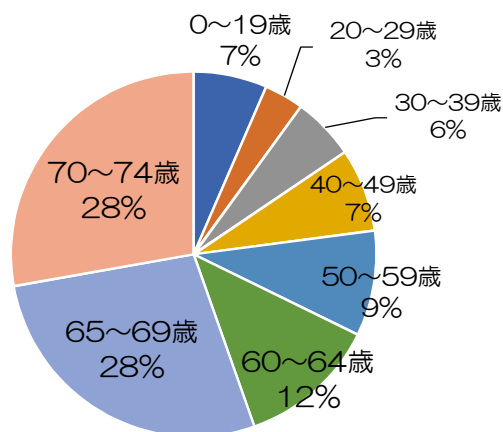
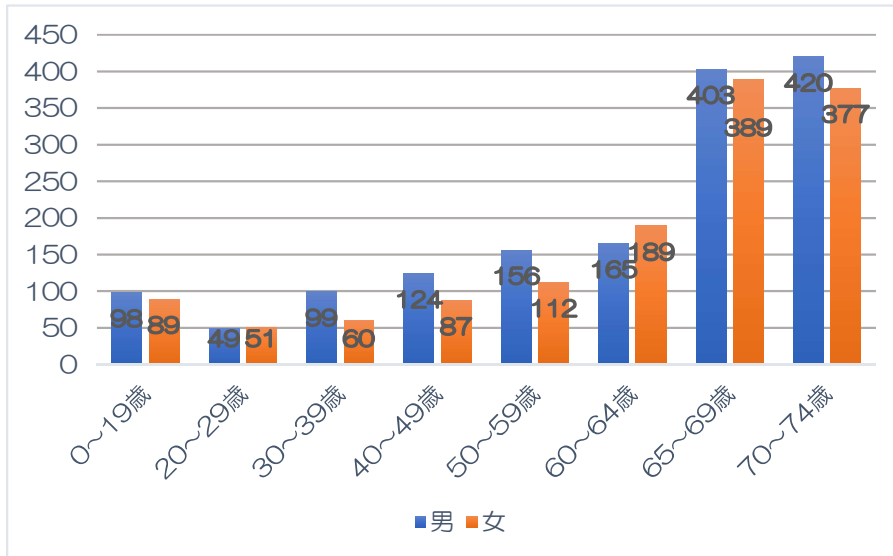


図3 年代別被保険者構成割合



※「国民健康保険 年齢別被保険者集計表（コーカス）より

図4 年代別男女別被保険者数（令和元年度末）



平成28年度と比較して大きく変わった点として、70～74歳の被保険者数が増加したことがあげられます。65～69歳の年齢層の7割程度であったものが、同等までに伸びてきました。団塊の世代が70歳以上の年代に入り、高齢化が進展したものと考えられます。

※「国民健康保険 年齢別被保険者集計表（コーカス）より

## 2. 被保険者全体の健康水準の評価について

被保険者1人当たりの医療費は県内でも高く、平成28年度以降、高いほうから2番目（H28）、2番目（H29）、8番目（H30）、10番目（R元）と推移しています。令和元年度については、県内市町村平均と比較し入院が108%、入院外が97%、歯科が87%、調剤が114%となっています。

入院に係る医療費をみると、精神及び行動の障害、次いで新生物（がん）、循環器系の疾患の順で割合が高くなっています。さらに詳細に分類すると、精神及び行動の障害においては統合失調症の割合が高く、新生物（がん）においては肺がんと胃がんが高い割合を占め、循環器系の疾患においては不整脈、狭心症、脳梗塞の順で高い割合となっています。

外来に係る医療費においては、新生物（がん）、循環器系の疾患、次いで内分泌系疾患、筋骨格系疾患の順で割合が高く、詳細な分類においては、高血圧症の割合が特に高く、糖尿病、肺がん、脂質異常症が高い割合を占めている状況となっています。

また、介護認定を受けている方の有病状況は、心臓病、高血圧、筋・骨格疾患、精神疾患が多く、近年の傾向としては、認知症が増加傾向となっています。

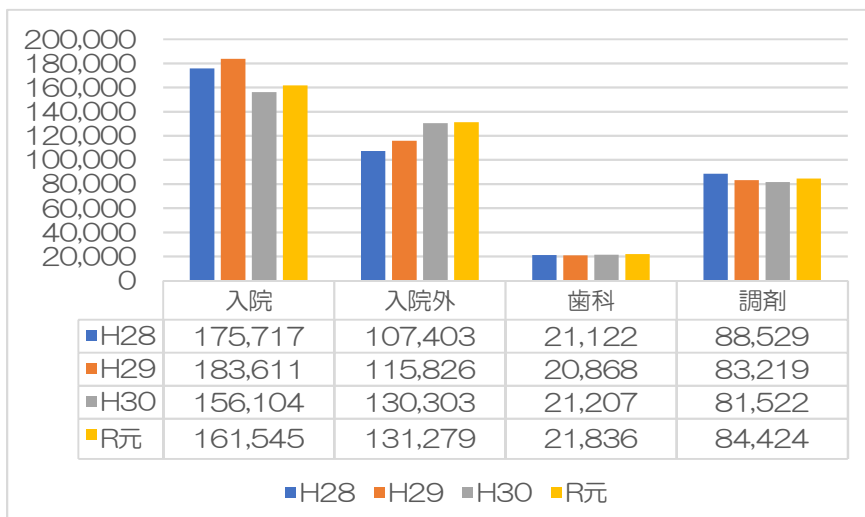


図5 被保険者一人当たり入院・入院外・歯科・調剤別医療費推移（円）（一般分+退職分）

※国民健康保険事業年報より

図6 白鷹町の入院・外来別病名別医療費割合（％）

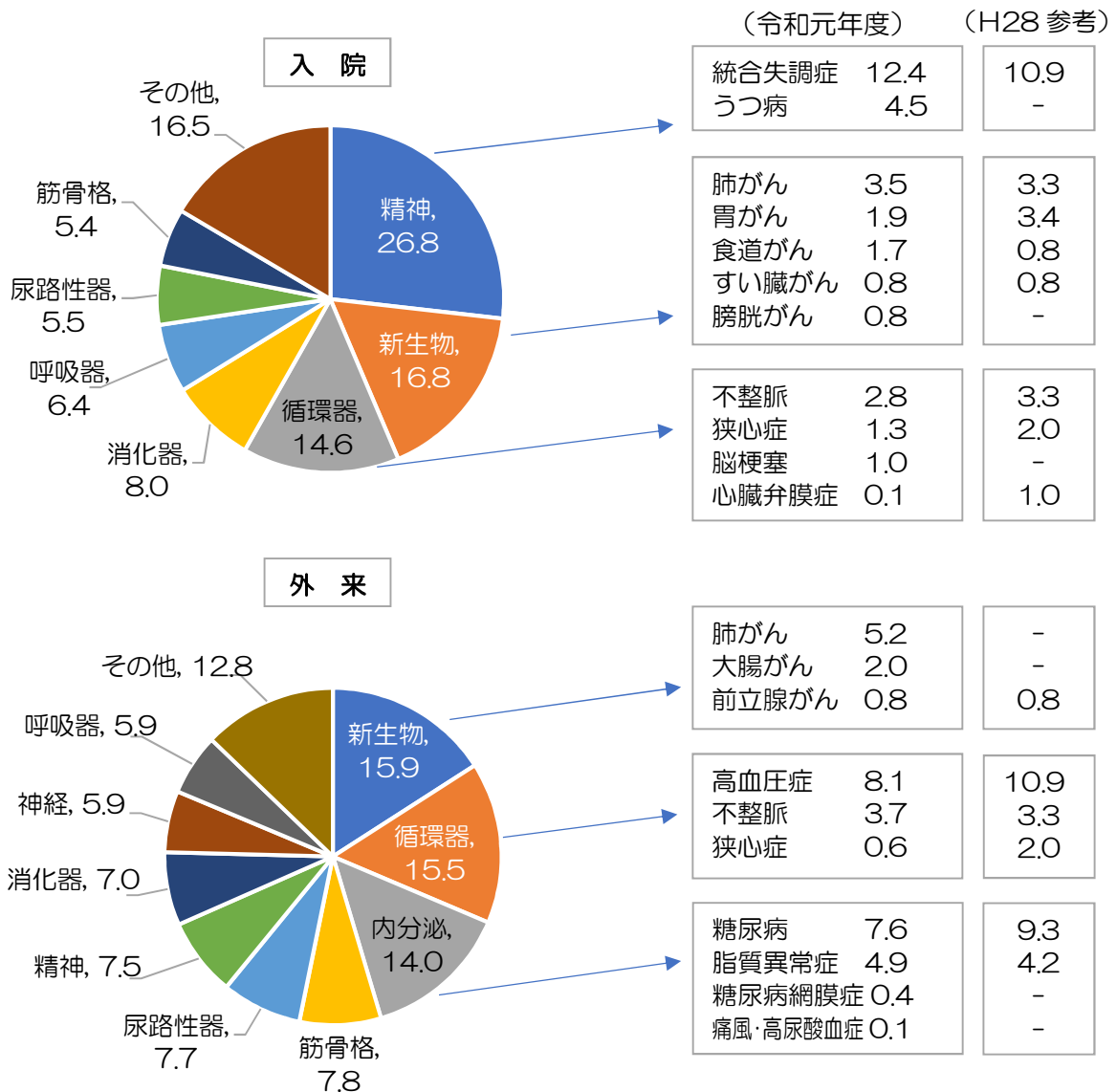
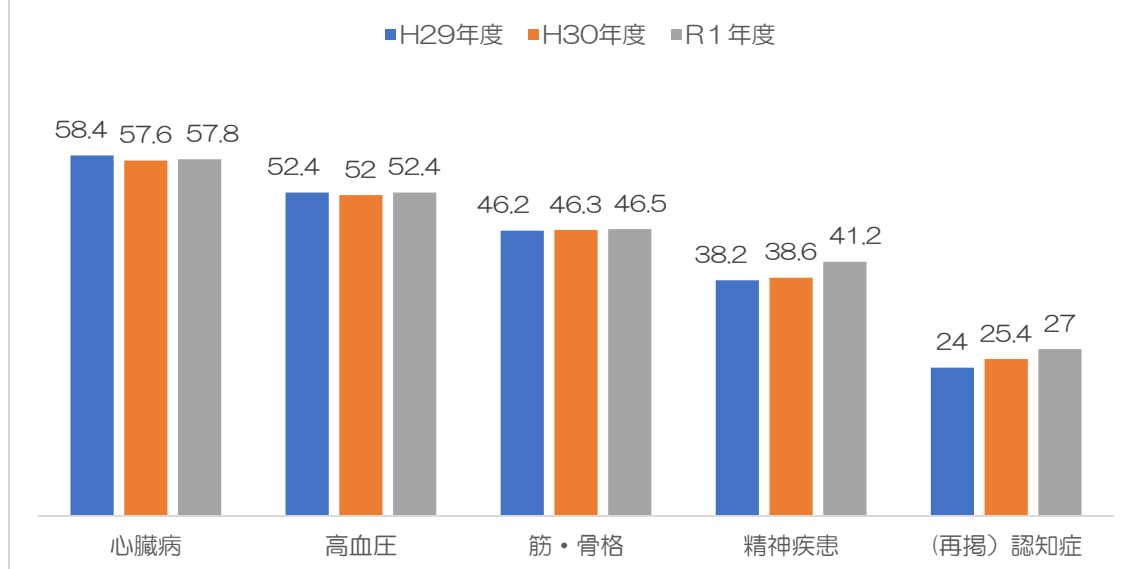


図7 要介護(支援)者の有病状況(%)



※図6、図7 KDBシステムより

### 第3章 保健事業の中間評価と見直し

#### 1. 計画全体の評価と方向性の検討

特定健康診査受診率については、毎年健診を受けるという意識が高いことに加え、平成30年度より未受診者の傾向に合わせた受診勧奨を行った結果、中間評価時点ですでに最終目標を達成しています。しかし、経年未受診者が約4割程度いることから、引き続き未受診者対策等に取り組んでいく必要があります。また、受診者の生活習慣病リスク保有者の割合が年々増加している状況があります。健診を受けた後の生活習慣病予防の取り組みを引き続き推進していきます。

特定保健指導については、できる限り対象者に合わせた日程で実施するなどの工夫も行っているものの、ベースラインも下回る状況で目標達成は難しい状況です。健診から始める健康づくり意識の向上や繰り返し指導対象となる方へのアプローチの工夫など保健指導実施率の向上に努めます。

#### ●全体的な実績値と評価

中間目標（R2年度）		実績値				評価
指標	目標値	ベースライン（H28）	H29年度	H30年度	R1年度	
特定健診受診率の向上	60.4% 最終61%	59.6% 法定報告	58.5% 法定報告	61.5% 法定報告	61.3% 法定報告	a
特定保健指導実施率の向上	44% 最終50%	38.4% 法定報告	31.1% 法定報告	37.2% 法定報告	35.6% 法定報告	c

ベースラインと実績値を見比べて、下記の4段階で評価し記載

a：改善 b：変化なし c：悪化 d：評価困難

#### ●特定健康診査受診者の生活習慣病リスク保有者の割合（％）

	H28	H29	H30	R1
肥満リスクあり	33.5	34.8	33.8	35.1
血糖リスクあり	44.7	45.6	46.8	47.1
血圧リスクあり	68.1	64.9	68.5	74.4
脂質リスクあり	35.1	35.8	37.4	40.2

※KDBシステムより

## 2. 個別事業の評価と方向性の検討

生活習慣病の発症予防の取り組みとして行っている健診結果説明会、各地区健康教室、生活習慣病予防講座については、いずれも参加者数が目標値に届かない状況ですが、健康づくり推進員の事業と同時開催している結果説明会は9割達成の状況となっています。地区組織との協力や不参加者の傾向分析、インセンティブ事業の活用等により、参加者を増やす工夫を行います。

また、がん検診の精密検査勧奨については引き続き受診勧奨を適切に行い、糖尿病等の重症化予防については、県の糖尿病等重症化予防プログラムに沿い、受診勧奨、かかりつけ医との連携の強化を推進していきます。また、経年的な検診データや個人のリスクを見える化した資料を活用し、より効果的な保健指導を行っていきます。

透析導入となった人数については目標達成に至っていません。糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防事業の取り組みとして、透析導入に至る可能性が高い方の専門医療機関受診にむけた支援等を行っていきます。

### ●個別事業の実績値と評価

事業名	中間目標（R2年度）		実績値				評価
	指標	目標値	ベースライン	H29年度	H30年度	R1年度	
健診結果説明会	参加者数	230人	202人	244人	218人	200人	b
各地区健康教室	参加者数	140人	135人	87人	218人※	68人	c
生活習慣病予防講座	参加者数	20人	12人	中止	7人	中止	d
がん精密検査勧奨	受診率	100%	79.1%	82.9%	76.9%	79.6%	c
子どもの健康づくり健診	受診率	55%	47.6%	50.2%	51.3%	62.3%	a
糖尿病等の重症化予防事業	新規透析導入患者数（年度内）	1人	1人	1人	2人	3人	c
重複・頻回受診等訪問指導	訪問指導の実施率	100%	100%	100%	100%	100%	a

※健診結果説明会と同時開催

ベースラインと実績値を見比べて、下記の4段階で評価し記載

a：改善 b：変化なし c：悪化 d：評価困難

\*令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、健診結果説明会、各地区健康教室、生活習慣病予防講座、子どもの健康づくり健診を中止とし、その他の事業については、令和2年度実績未確定のため記載なし。



●目標達成に向けた課題の整理と事業の方向性

事業名	課題等	事業の方向性
健診結果説明会	参加意欲を高めるような事業内容 感染予防との両立のため、新たな実施方法を検討。	対象を絞ったコースの設定やリスクの高い方への個別支援等、ポイントを絞った内容で開催する。
各地区健康教室	参加意欲を高めるような事業内容 感染予防との両立のため、新たな実施方法を検討。	地区の特性（健康課題、周知方法、集まりやすい会場など）に合わせて開催する。
生活習慣病 予防講座	対象が19～39歳と若く健康づくりへの意識が低い傾向がある。	対象に合わせたプログラムの工夫として、指導媒体の工夫（メールや動画の活用）など検討する。
がん精密検査 勧奨	受診勧奨を行っても自己判断で受診しない方がいる。地域で精密検査を受けられる医療機関が限られ受診が遅れる傾向がある。	未受診者の分析等から効果的な受診勧奨の方法を検討する。 正しい情報提供と医療機関の紹介を行う。
子どもの健康 づくり健診	コロナ禍において医療機関の受け入れ態勢に配慮する必要あり。	医療機関の受け入れ態勢に合わせて、実施する。 個々に合った保健指導の充実を図る。
糖尿病等の 重症化予防事業	ハイリスクアプローチとして、健診結果後の受診勧奨だけでなく、さらに踏み込んだ支援が必要。 新規透析導入者の導入に至るまでの分析を進める必要あり。	健診結果からの受診勧奨についてリスクを見える化した資料を活用し個別支援を継続する。 R2年度から開始した推定食塩摂取量検査結果も活用しながら望ましい食習慣を推進する。
重複・頻回受 診等訪問指導	対象者への確実な訪問支援ができていない。	引き続き、確実な訪問支援を実施していく。

令和2年度からの保健事業においては、新型コロナウイルス感染症の感染予防を十分に図ることに加え、オンラインでの体操動画の配信など新しい生活様式を踏まえた事業実施にも努めています。状況にあった事業展開を適宜検討していきます。

### 3. 中間評価後の事業の実施と目標値の追加

評価内容、事業の方向性を踏まえ、事業内容の変更や工夫を行います。また、新型コロナウイルス等の感染症対策についても、感染リスクを抑えながらの事業実施や動画等を活用した新しい健康づくりの提案などを関係機関と必要な調整を行いながら進めていきます。

また、最終年度までの取り組みを進めるにあたり、経年変化をより分かりやすく評価するため目標値の追加、変更を行います。健診結果説明会および生活習慣病予防講座は目標値を参加者数から参加率に変更し、各地区健康教室は町内6地区全てでの開催を目標とします。新規透析導入者の人数については、年度ごとの目標設定に、計画期間での累計人数も指標に加え、計画期間全体の取り組みについて評価を行うこととします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため令和2年度から事業の実施を見合わせる等の対応をしていることから、事業の評価にあたっては、指標の変更や追加等を行い、柔軟に対応していきます。

#### ●目標値の追加・変更（太字下線部分）

事業名	最終目標		実績値			
	指標	目標値	ベースライン	H29年度	H30年度	R1年度
健診結果説明会	参加者数	-	202人	244人	218人	200人
	<b>参加率 ※1</b>	<b>9.0%</b>	<b>7.5%</b>	<b>9.9%</b>	<b>8.9%</b>	<b>8.5%</b>
各地区健康教室	参加者数	150人	135人	87人	218人 ※4	68人
	<b>実施回数</b>	<b>6回</b>	<b>6回</b>	<b>3回</b>	<b>6回</b>	<b>4回</b>
生活習慣病予防講座	参加者数	-	12人	中止	7人	中止
	<b>参加率 ※2</b>	<b>20.0%</b>	<b>19.7%</b>	-	<b>16.3%</b>	-
がん精密検査勧奨	受診率 ( <u>各がん検診の平均</u> )	100%	79.1%	82.9%	76.9%	79.6%
子どもの健康づくり健診	受診率	60%	47.6%	50.2%	51.3%	62.3%
糖尿病等の重症化 予防事業	新規透析導入患者数(3年間平均)	1人未満 ※3	1人	1人	2人	3人
重複・頻回受診等 訪問指導	訪問指導の実施率	100%	100%	100%	100%	100%

※1 健診結果説明会 参加率：参加者数/同日検診及び人間ドック健康診査受診者数×100

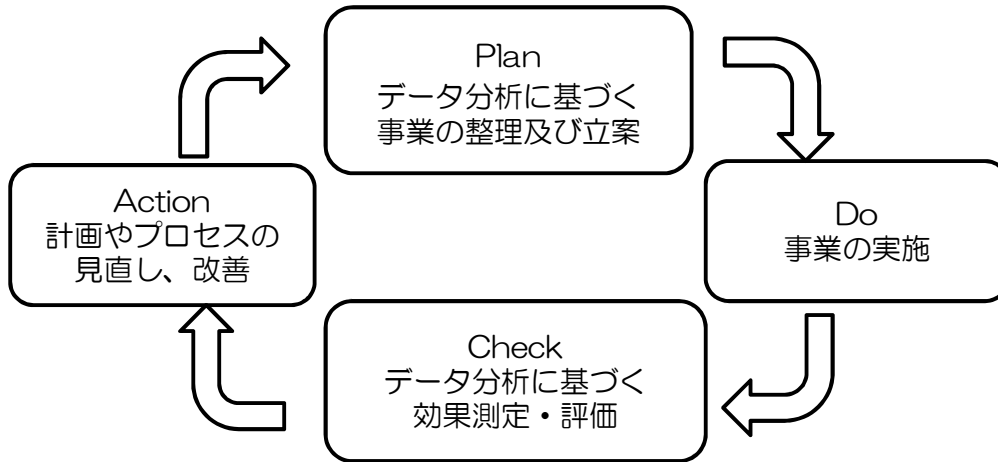
※2 生活習慣病予防講座 参加率：参加者数/同日検診及び人間ドック39歳以下有所見者数×100

※3 令和2年度から令和4年度までの3年間での年間平均新規透析導入患者数

※4 健診結果説明会と同時開催

## 第4章 計画の進捗管理

各事業は、毎年度評価を行い、必要に応じて翌年度の事業内容の見直しを行います。計画の最終年度には、目標の達成状況や他の保健事業の状況も加味したうえで計画の評価を行います。



白鷹町保健事業実施計画  
(第二期データヘルス計画及び第三期特定健康診査等実施計画)  
中間評価

令和3年3月発行

白鷹町 町民課国保医療係、健康福祉課健康推進係